

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	地域包括支援センター		No.	368
大分類	02社会教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	健康福祉部地域包括支援センター
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	市民サービス向上の観点から、市健康福祉部や市民課等の窓口業務との連携、大田市社会福祉協議会への一部業務委託を視野に、今後検討される市本庁舎移転において、本庁機能との複合化を検討するため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2023 年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	(複合化実施済み)		大田市民センターは複合施設のため地域包括支援センター単独の方針決定とはならない。市内にある他施設の利用状況等も踏まえ、市として方針決定すべき案件である。
	2022年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	進捗していない	市民サービス向上の観点から、本庁福祉関連窓口等との一体的な運営をめざし、本庁機能移転とともに、地域包括支援センター・大田市社会福祉協議会の移転を検討する。
第2期	2023年度	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 59 年
建物延面積	507.89 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	0.83
摘要欄	面積には、大田市社会福祉協議会(344.13m <sup>2</sup> )を含む

関連条例等	介護保険法第115条の46 大田市地域包括支援センター規則
設置(目的等)	地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために、必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、大田市地域包括支援センターを設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設の写真】

※写真は、市民会館、市民センターを参照

※大田まちづくりセンターは、大田市民会館内に所在

## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	166,829,917円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	155,717,942円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		322,547,859円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	14,058円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	374,889,616円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		374,903,674円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-52,355,815円	市民一人あたり税金充当額	-1,610円/人
	延床面積あたり税金充当額		-103,085円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-143,441円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	いきいき工房祖式		No.	393
大分類	07保健・福祉施設			
小分類	高齢者福祉施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の策定予定の有無

担当部署名	健康福祉部地域包括支援センター
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	現在の施設は「研修棟」と「作業棟」があり、「研修棟」はH25から行政財産目的外使用を行っており、事業は「作業棟」のみを指定管理で行っている。 「研修棟」は、譲渡（売却）に向けて協議中。「作業棟」との接続部分（渡り廊下）の切り離し工事を行う。 「作業棟」は指定管理で事業継続中だが、他施設での事業継続、地域移管や廃止を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	評価が達成される年度	2025 年度						

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		・県補助金を活用し改修しているため、事業外使用により収入を得ている部分については県へ納付している。 ・「研修棟」譲渡（売却）に関しては、今後。
第2期	2022年度	進捗していない	・「研修棟」譲渡（売却）に向け渡り廊下切り離し工事を行った。 ・介護予防事業の実施方法については今後検討。
	2023年度		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	234.15 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市いきいき工場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	介護予防・生きがい活動実施のため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	140,511円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	144,113円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		284,624円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	242,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	75,828円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	7,457円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		325,285円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-40,661円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-174円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-111円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	535	499	169	356	449	401	111%